



# 生産性向上とともに能力を存分に 発揮できる環境づくり

名古屋工業大学 工学専攻  
社会工学系プログラム  
准教授 須藤 美音

# 労働者の視点で労働環境を分析し、 『仕事はつらくて当たり前』 という慣習をなくしたい

8 働きがいも  
経済成長も



## SDGs目標8 「働きがいも経済成長も」

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する。

# 社会背景と技術的課題

## ● 少子高齢化が進み生産年齢(15~64歳)の減少

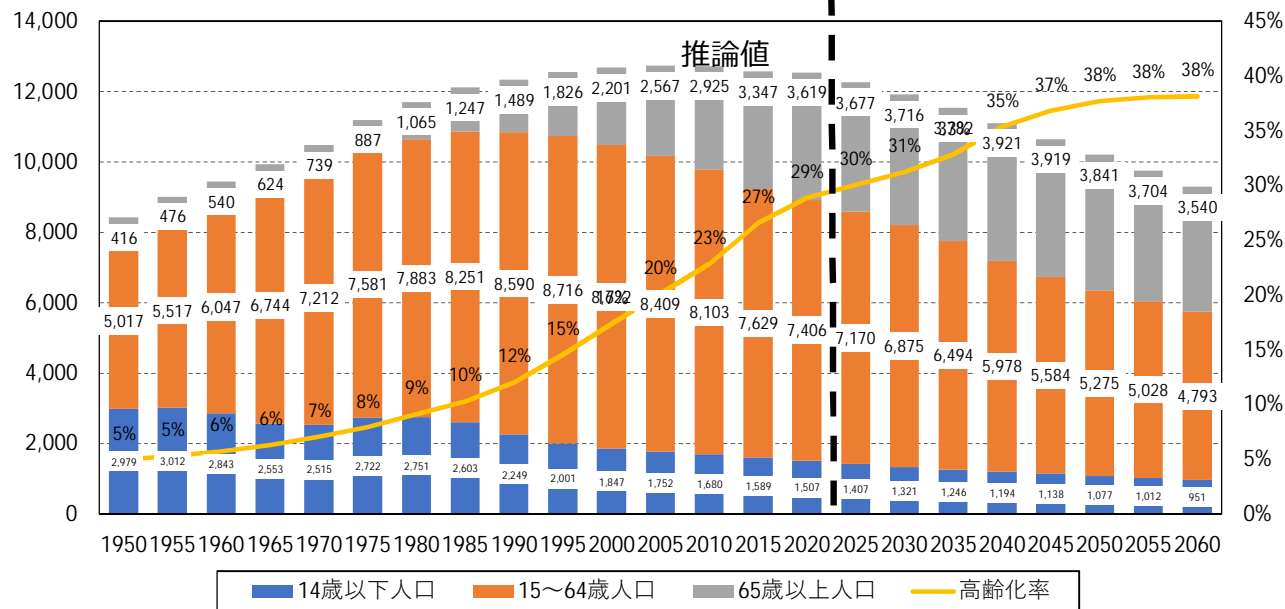
労働参画の拡大のほか、教育・人材育成の充実による労働の質の向上等を通じイノベーションを促進し、生産性を上昇させることが重要

## ● SDGs目標8「働きがいも経済成長も」

持続可能な経済成長やディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

飲食サービス、医療福祉サービス等身体的・精神的負担の高い業種の離職率が高い

人口推移 (平成29年)



参考文献 | 総務省平成29年

# 本技術の特徴

- “**労働者の視点で施設環境を計画**” するということ
- 労働者の“**長期的なパフォーマンスを向上**” を目指していること  
(短時間の生産性向上ではなく、長期的な視点で生産性を検討)

## ■ 医療施設

- 患者の療養環境として十分に検討されているが、医療従事者の労働環境としては、検討例は少ない
- 短時間の生産性向上を目指した研究はあるが、“働きがい”という点は考慮されていない

## ■ 飲食施設の調査例

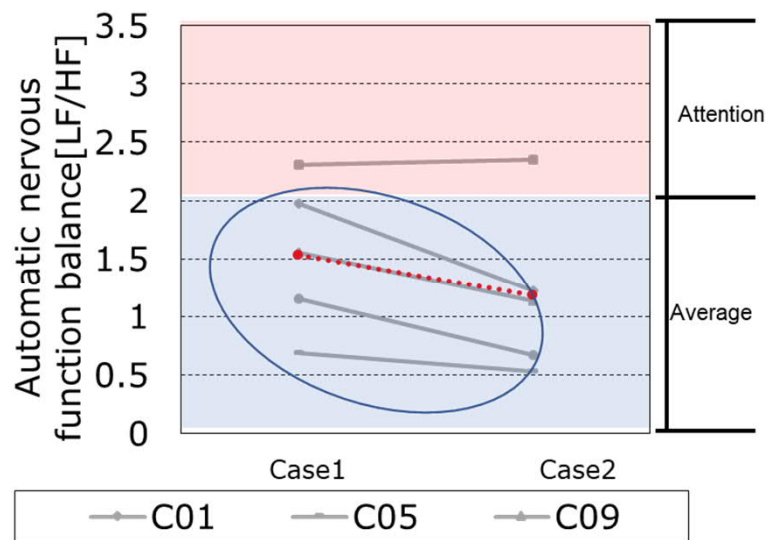
- 顧客の飲食スペースについては検討例が多いが、厨房の労働環境としては少ない
- 厨房の短時間の生産性向上を目指した研究は少なくないが、“働きがい”という点は考慮されていない

# 具体的な取り組み

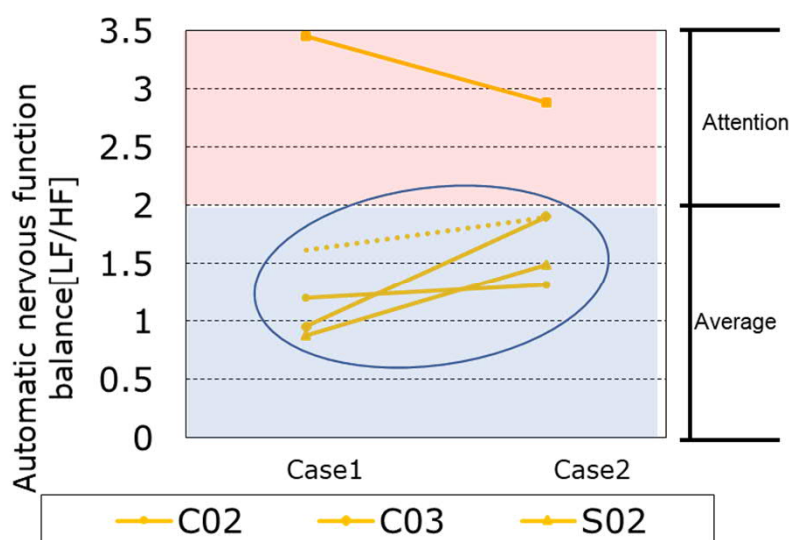
## ★某大手ファストフード店を対象とした調査研究

- 厨房業務は立ち仕事为中心で、中腰になる作業が多いことから、身体に負荷がかかるため、高年齢ほど負担が大きい
- 某大手ファストフード店にて着席による厨房作業を導入
- 頻繁に着席をして作業をしていた被験者(左図)は、着席による作業導入により自律神経のバランスが改善された

頻繁に着席をしていた被験者グループ



頻繁に着席をしていた被験者グループ

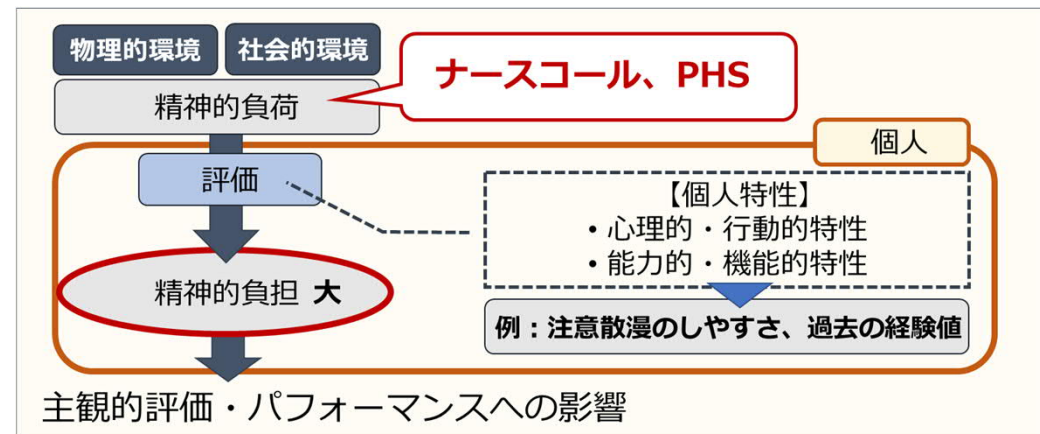


Case1: 立位による作業  
 Case2: 着席による作業

# 具体的な取り組み

## ★大規模病院を対象とした調査研究

- 離職率が高く、精神的な負担および身体的な負担がその原因の1つ
- 某大規模大学病院に、リフレッシュスポットを導入(2019年度調査)
  - 自律神経バランスが改善されたほか、医師などのスタッフとのコミュニケーションが増加し、職場の雰囲気良くなった
- 某大規模大学病院に、集中ブースを導入予定(2021年度調査)
  - 20代の看護師を中心に、ナースコール音が、集中力を阻害する要因となっている。(しかし、聴こえないと困る)
  - タスクに集中したいときのみ使用する集中ブースを導入し、集中力の評価を行う予定



## 求める連携先・メッセージ

- ・ **医療施設、航空機内環境、サービス施設**など、顧客のための環境としては非常に優れているが、労働者の視点からは検討されたことのない施設
- ・ あるいは**スポーツ施設、ライブ施設**などアスリートやパフォーマーの目線で検討が必要な施設

について、身体的負担および精神的負担を測定・評価し、施設計画の提案をすることを得意とする研究室ですので、お問合せください

# 本技術に関する情報

## 試作品の状況

未定

## 研究フェーズ



## 文献

- 遠藤 以央利, 須藤 美音, 『ファストフード店の厨房環境が調理従事者の疲労・パフォーマンスに与える影響の年齢層を考慮した評価, 日本建築学会環境系論文集掲載決定
- 「第41回吉野家賞 採択者「創造性を引き出す店舗設計が飲食業界に変革を促す」 須藤 美音さん」 [https://r.lne.st/2020/41st\\_yoshinoya/](https://r.lne.st/2020/41st_yoshinoya/)



# 【お問合せ】

名古屋工業大学 産学官金連携機構

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市29番

TEL:052-735-5627

E-mail: [nitfair@adm.nitech.ac.jp](mailto:nitfair@adm.nitech.ac.jp)

URL: <https://technofair.web.nitech.ac.jp/>